

○東京都後期高齢者医療広域連合運営会議条例

令和5年1月26日条例第5号

東京都後期高齢者医療広域連合運営会議条例

(設置)

第1条 東京都後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）の適切な運営に資するため、東京都後期高齢者医療広域連合長（以下「広域連合長」という。）の附属機関として、東京都後期高齢者医療広域連合運営会議（以下「運営会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 運営会議は、次に掲げる事項について審議し、広域連合長に提言することができる。

- (1) 広域連合が策定する計画に関すること。
- (2) 後期高齢者医療の保険料に関すること。
- (3) 高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号。以下「法」という。）第125条第1項に規定する高齢者保健事業その他後期高齢者医療に係る事務事業に関すること。
- (4) 前3号に定めるもののほか、広域連合の運営に関し広域連合長が必要と認める事項

(組織)

第3条 運営会議は、委員20人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、広域連合長が委嘱する。

- (1) 後期高齢者医療の被保険者等を代表する者
- (2) 保険医その他の医療関係者を代表する者
- (3) 学識経験を有する者
- (4) 法第7条第3項に規定する被用者保険等保険者その他の医療保険者を代表する者
- (5) 別に定めるところにより実施する委員の公募に応募した者

3 前2項に定めるもののほか、運営会議の組織に関し必要な事項は、広域連合長が別に定める。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。

2 委員に欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員の再任は、妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 運営会議に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は委員の互選により選出し、副会長は会長が指名する。
- 3 会長は、会務を総理し、運営会議を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 5 会長及び副会長の任期は、委員の任期による。

(会議)

第6条 運営会議の会議（以下この条及び次条において「会議」という。）は、会長が招集する。

ただし、次の各号のいずれにも該当するときは、広域連合長が招集する。

- (1) 会長が、任期満了その他の事由により、不在であるとき。
 - (2) 前号に該当する場合において、前条第4項の規定により会長の職務を代理する副会長が、任期満了その他の事由により、不在であるとき。
- 2 会議の議長は、会長をもって充てる。
 - 3 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
 - 4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
 - 5 前各項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、広域連合長が別に定める。

(意見等の聴取)

第7条 会長は、必要に応じて、会議に委員以外の者の出席を求め、意見等を聴くことができる。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、広域連合長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、令和5年7月1日（以下「施行日」という。）から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

- 2 委員の委嘱のための手続その他この条例の施行に必要な準備行為は、施行日前においても行うことができる。